

仙台白百合女子大学

数理・データサイエンス・AI教育プログラム 取組概要

【プログラムの目的】

全学生を対象に、数理・データサイエンス・AIの基礎知識を学修し、データ分析の技術を修得します。さらに、データ・AI活用における留意点についても理解を深めます。これにより、数理・データサイエンス・AIを日常生活や仕事で活用することができる基礎的素養を身につけます。また、表計算ソフトを使用したデータ分析の演習を通して、データサイエンスの核となる統計学の知識と情報処理スキルを修得します。

【プログラムの修了要件】 教養共通科目「情報科学」（選択：2単位）を修得すること。

【プログラムの改善や自己点検・評価を行う組織】 教育・研究推進委員会 - データサイエンス教育運営会議

モデルカリキュラム/ 対象科目	導入 社会におけるデータ・AI活用						基礎 データリテラシー			心得 データ・AI活用における 留意事項	
	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
情報科学 (2単位)	社会で起きている変化	社会で活用されているデータ	データ・AIの活用領域	データ・AI利活用のための技術	データ・AI利活用の現場	データ・AI利活用の最新動向	データを読む	データを説明する	データを扱う	データ・AIを扱う上での留意事項	データを守る上での留意事項
	第1講 第2講	第4講 第5講	第5講	第5講	第4講	第2講 第3講	第6～10講 第13～15講	第6～10講 第13～15講	第6～10講 第13～15講	第11講 第12講	第11講 第12講

学修成果

- ・ 社会におけるAI・データ利活用の事例や、社会で起きている変化、AI活用領域について説明できる。
- ・ AI・データを活用するうえでのルールやモラル、個人情報を守るための注意点について説明できる。
- ・ 基本的な数学知識や統計学をデータ分析に活用できる。
- ・ 表計算ソフトを用いたデータの整理、加工、分析、可視化など適切なデータ分析ができる。